

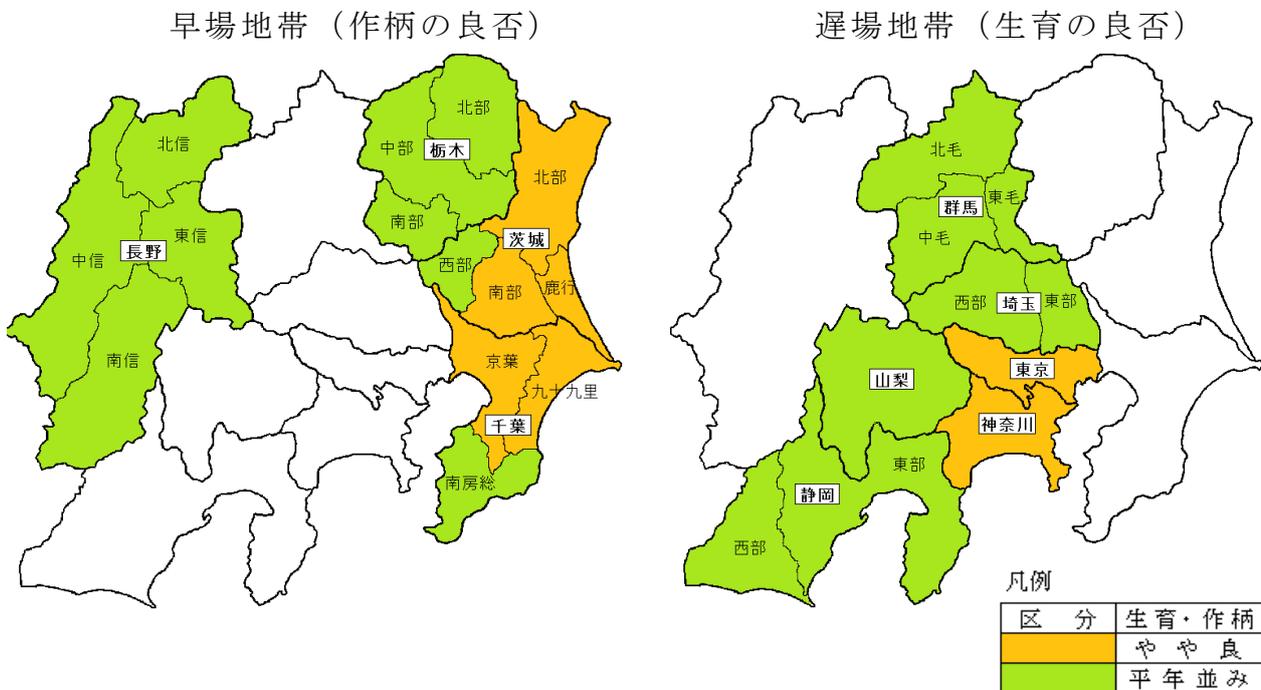
平成25年産水稻の8月15日現在における作柄概況 (関東農政局管内)

—早場地帯の作柄は「やや良」ないし「平年並み」の見込み—

【調査結果の概要】

- 1 早場地帯（4県）の作柄は、茨城県及び千葉県においては「やや良」が見込まれる。これは、全もみ数がやや多いと見込まれることによる。栃木県及び長野県においては「平年並み」が見込まれる。これは、全もみ数及び登熟が平年並みと見込まれることによる。
- 2 遅場地帯（6都県）の生育は、東京都及び神奈川県においては「やや良」で推移している。これは、茎数が多いないしやや多いことによる。群馬県、埼玉県、山梨県及び静岡県においては「平年並み」で推移している。

図 作柄表示地帯別の生育・作柄の良否



○ 早場地帯とは、8月15日現在の出穂済面積割合が、平年ベースでおおむね8割以上を占める県である。遅場地帯とはそれ以外の都県である。

この統計調査における調査の目的、調査の対象などは、【調査の概要】P5に掲載しています。

【統計表】

表 1 都県・作柄表示地帯別田植・出穂状況（8月15日現在）

都 県 作柄表示地帯	田 植 期					出 穂 期					出 穂 済 面 積 割 合
	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較		始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較		
				対 平 年	対 前 年				対 平 年	対 前 年	
月 日	月 日	月 日			月 日	月 日	月 日			%	
茨 城	4. 29	5. 6	5. 23	1日早	1日早	7. 19	7. 31	8. 11	3日早	3日早	97
北 部	5. 1	5. 7	5. 25	2日早	1日早	7. 22	8. 4	…	3日早	3日早	93
鹿 行	4. 27	5. 4	5. 25	並 み	1日早	7. 18	7. 30	8. 10	4日早	3日早	100
南 部	4. 28	5. 6	5. 19	1日遅	並 み	7. 15	7. 29	8. 6	2日早	1日早	99
西 部	4. 26	5. 3	5. 25	3日早	2日早	7. 21	7. 29	8. 7	5日早	6日早	96
栃 木	5. 1	5. 7	6. 15	並 み	並 み	7. 26	8. 2	…	3日早	2日早	88
北 部	5. 1	5. 6	5. 15	並 み	並 み	7. 28	8. 1	8. 13	4日早	3日早	96
中 部	4. 30	5. 6	5. 18	1日早	1日早	7. 26	7. 31	8. 12	3日早	2日早	97
南 部	5. 2	5. 30	6. 26	1日遅	1日遅	7. 22	8. 10	…	2日早	1日早	64
群 馬	5. 23	6. 14	6. 27	並 み	1日早	8. 9	…	…	…	…	38
中 毛	5. 29	6. 20	6. 30	並 み	並 み	8. 8	…	…	…	…	21
北 毛	5. 14	5. 25	6. 5	並 み	1日早	8. 9	8. 11	…	1日早	1日遅	90
東 毛	5. 17	6. 12	6. 28	1日早	1日早	8. 9	…	…	…	…	43
埼 玉	4. 28	5. 22	6. 28	並 み	並 み	7. 24	8. 11	…	2日早	2日早	63
東 部	4. 27	5. 12	6. 21	2日遅	1日遅	7. 22	8. 8	…	3日早	2日早	67
西 部	5. 12	6. 7	6. 30	1日早	1日早	7. 31	8. 14	…	2日早	2日早	55
千 葉	4. 18	4. 28	5. 7	並 み	並 み	7. 15	7. 24	8. 3	4日早	3日早	100
京 葉	4. 21	5. 1	5. 11	並 み	並 み	7. 18	7. 25	8. 10	5日早	4日早	100
九十九里	4. 18	4. 27	5. 5	並 み	1日早	7. 15	7. 24	8. 1	4日早	2日早	100
南房総	4. 12	4. 24	5. 7	並 み	並 み	7. 10	7. 21	7. 30	4日早	2日早	100
東 京	6. 1	6. 16	6. 29	3日遅	2日遅	8. 8	8. 13	…	3日早	5日早	55
神 奈 川	5. 19	6. 1	6. 13	1日早	1日遅	8. 3	8. 12	…	1日早	2日早	81
山 梨	5. 14	5. 30	6. 18	並 み	並 み	8. 2	8. 9	…	4日早	3日早	76
長 野	5. 12	5. 22	6. 2	1日遅	1日遅	7. 30	8. 7	8. 14	2日早	1日早	95
東 信	5. 15	5. 25	6. 4	1日遅	2日遅	8. 2	8. 9	8. 15	2日早	並 み	96
南 信	5. 9	5. 21	6. 2	並 み	並 み	7. 30	8. 5	8. 13	2日早	並 み	99
中 信	5. 5	5. 14	5. 26	2日遅	2日遅	7. 25	8. 3	8. 11	3日早	3日早	100
北 信	5. 22	5. 31	6. 11	並 み	並 み	8. 2	8. 11	…	1日早	並 み	78
静 岡	4. 22	5. 20	6. 10	2日早	2日早	7. 18	8. 9	…	3日早	4日早	66
東 部	5. 6	5. 22	6. 7	1日早	1日早	7. 28	8. 10	…	3日早	5日早	65
西 部	4. 19	5. 18	6. 11	3日早	2日早	7. 15	8. 7	…	4日早	4日早	67

注：1 田植期及び出穂期の始期、最盛期、終期とは、田植及び出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。

2 出穂期の「最盛期」及び「終期」の欄の「…」は、8月15日現在でそれぞれの期日に達していないことを示している。

表2 早場地帯の作柄概況（8月15日現在）

県 作柄表示地帯	平 年 比 較					
	作柄の 良 否	穂数の 多 少	1穂当たり もみ数の多少	全もみ数の 多 少	登熟の良否	
茨 城	やや良	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良	
北 部	やや良	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	
鹿 行	やや良	やや少ない	やや多い	やや多い	やや不良	
南 部	やや良	やや多い	やや多い	多 少	やや不良	
西 部	平年並み	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	
栃 木	平年並み	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み	
北 部	平年並み	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	
中 部	平年並み	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み	
南 部	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	
千 葉	やや良	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	
京 葉	やや良	やや少ない	多 少	やや多い	平年並み	
九十九里	やや良	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	
南房総	平年並み	平年並み	平年並み	やや少ない	やや良	
長 野	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	
東 信	平年並み	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み	
南 信	平年並み	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	
中 信	平年並み	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	
北 信	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み	平年並み	

注：1 本表で用いる作柄の良否の表示区分は、「良」が作況指数106以上、「やや良」が105～102、「平年並み」が101～99、「やや不良」が98～95、「不良」が94以下に相当する。
2 関東農政局管内の水稲作付面積に占める早場地帯の割合は、平成24年産で74.8%となっている。

表3 遅場地帯の生育状況（8月15日現在）

都 県 作柄表示地帯	平 年 比 較		
	生育の良否	草丈の長短	茎数の多少
群 馬	平年並み	平年並み	やや多い
中 毛	平年並み	平年並み	平年並み
北 毛	平年並み	やや短い	やや多い
東 毛	平年並み	平年並み	やや多い
埼 玉	平年並み	やや長い	平年並み
東 部	平年並み	やや長い	平年並み
西 部	平年並み	やや長い	平年並み
東 京	やや良	やや長い	多 少
神 奈 川	やや良	やや長い	やや多い
山 梨	平年並み	平年並み	やや多い
静 岡	平年並み	平年並み	平年並み
東 部	平年並み	平年並み	やや多い
西 部	平年並み	平年並み	平年並み

注：1 生育状況は、草丈の長短、茎数の多少等の計測結果、生育の遅速、被害の発生状況及び一部のほ場における計測可能な穂数、もみ数等の計測結果等を総合して、8月15日現在における稲体の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではない。
2 関東農政局管内の水稲作付面積に占める遅場地帯の割合は、平成24年産で25.2%となっている。

【関連するデータ、情報】

累年表

水陸稲(子実用)の年次別推移(関東農政局管内)

年 産	水 陸 稲 計		水 稲				
	作付面積 (子実用)	収 穫 量 (子実用)	作付面積 (子実用)	10 a 当 たり 収 量	10 a 当 たり 平 年 収 量	作 況 指 数	収 穫 量 (子実用)
	ha	t	ha	kg	kg		t
昭. 58	433,700	1,792,000	416,200	421	447	94	1,753,000
59	442,500	2,124,000	425,400	492	447	110	2,095,000
60	445,800	2,104,000	429,300	482	450	107	2,070,000
61	438,400	2,049,000	422,000	476	453	105	2,008,000
62	409,700	1,990,000	393,200	495	457	108	1,948,000
63	403,600	1,744,000	386,700	442	462	96	1,711,000
平. 元	401,700	1,865,000	385,300	474	465	102	1,827,000
2	396,500	1,939,000	382,000	501	468	107	1,912,000
3	390,600	1,885,000	378,000	490	473	104	1,852,000
4	394,800	1,941,000	383,700	500	476	105	1,919,000
5	397,100	1,617,000	386,700	413	481	86	1,597,000
6	411,600	2,158,000	401,200	534	481	111	2,141,000
7	398,400	1,991,000	388,300	507	484	105	1,970,000
8	374,900	1,958,000	366,600	530	486	109	1,944,000
9	369,800	1,923,000	362,100	526	493	107	1,904,000
10	345,100	1,632,000	337,800	478	499	96	1,613,000
11	343,700	1,778,000	336,800	523	507	103	1,763,000
12	341,300	1,828,000	334,700	541	516	105	1,811,000
13	333,700	1,740,000	327,700	529	516	103	1,732,000
14	330,200	1,742,000	324,900	532	522	102	1,730,000
15	327,100	1,605,000	322,300	494	524	94	1,593,000
16	334,700	1,855,000	330,200	559	526	106	1,846,000
17	334,700	1,801,000	330,400	541	530	102	1,789,000
18	331,500	1,684,000	327,500	511	533	96	1,674,000
19	331,100	1,722,000	327,600	523	533	98	1,713,000
20	321,600	1,745,000	318,400	546	533	102	1,737,000
21	320,200	1,688,000	317,200	530	533	99	1,680,000
22	319,800	1,653,000	317,000	520	533	98	1,648,000
23	315,200	1,675,000	312,900	534	533	100	1,670,000
24	314,700	1,697,000	312,600	542	533	102	1,693,000

資料：農林水産省大臣官房統計部『作物統計』

注：作付面積(子実用)とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稲調査の中の作柄概況調査として実施し、水稲の生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象としている。

なお、関東農政局管内は、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県及び静岡県との10都県である。

区 分	調 査 対 象 都 県
早 場 地 帯	茨城県、栃木県、千葉県、長野県
遅 場 地 帯	群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県

3 調査対象数

作況標本筆調査：1,805筆 作況基準筆調査：147筆 巡回・見積り：434市町村

4 調査事項

は種期の遅速、田植期の遅速、活着の良否、草丈の長短、茎数の多少、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況及び耕種状況

5 調査期日

8月15日現在で水稲の生育・作柄概況を調査した。

6 調査方法

調査は、作況標本筆、作況基準筆に対する職員による実測調査及び作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

7 集計方法

調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

8 用語の解説

- (1) 「穂数の多少」とは、1 m²あたりに出穂した全ての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (2) 「1穂あたりもみ数の多少」とは、1穂についている全てのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (3) 「全もみ数の多少」とは、1 m²あたりの全てのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。

- (4) 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。
- (5) 前述の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した1㎡当たり穂数等の各収量構成要素の平年値との比較である。
- (6) 「作況指数」とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率である。
- (7) 「10a当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10a当たり収量をいう。

9 利用上の注意

統計数値については、下記の方法で四捨五入している。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数 (下から)		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入 しない
例	四捨五入する前 (原数)	1, 234, 567	123, 456	12, 345	1, 234	123
	四捨五入した後 (統計数値)	1, 235, 000	123, 500	12, 300	1, 230	123

10 その他

本調査における作柄概況（8月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

- この統計調査結果は、関東農政局ホームページ中の統計データに掲載しています。
 アドレス【http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/】
 又は、関東農政局トップページ▶統計情報▶各種統計

お問合せ先

- ◎本統計調査結果について
 関東農政局 統計部 生産流通消費統計課
 電 話：048（740）0588
- ◎農林水産統計全般について
 関東農政局 統計部 統計企画課
 電 話：048（740）0058



平成25年11月1日現在で、2013年漁業センサスを実施します。
 （流通加工調査については平成26年1月1日現在）